



広報

しんち

6

1993. No.264

発行と編集／新地町役場・企画振興課（〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40 ☎0244(6)2111）



それいけ

駒ヶ嶺小運動会「駒小野馬追い」

あなたの優しさを 献血に分けてください



ナント100回!
大堀 武さん

(42歳・中島)

初めて献血をしたのは16歳の時で、万年筆が貰えるからという単純な考えでした(笑)。献血預託制度(献血した人や家族が優先的に輸血を受けられる制度)がある頃は、手帳ごと他の人にやっているので、実際には120~130回くらい献血をしています。役場に入り保健環境課で献血を担当した時は、ちょうど献血預託制度が廃止され、町内の献血者数がぐっと減った時期で、これではいけないと思い、何とか以前の献血本数800本に近づけようと、率先して献血を行ってきました。それがいつの間にか100回になってしまったのです。

今では献血は自分にとって義務のような感じになっていますが(笑)、これからも健康新規けたいと思っています。

♡大堀さんの献血100回達成は町内で初めて、相双地方では10番目の快挙です。



▲体に負担の少ない成分献血

成分献血

献血の新しい方法として「成分献血(フレーリッシュ)」があります。これは、装置を用いて血液中の血小板・血漿という成分だけを献血いただきます。献血と同時に赤血球などの成分は、献血者にお返しする方法です。

| 献血の基準 | 血漿の成分献血の基準 | 血小板の成分献血の基準 |
|---------|-------------|-------------|
| 1回献血量 | 血漿量で400ml以内 | |
| 年齢 | 満18歳~満64歳 | 満18歳~満54歳 |
| 体重 | 男女共50kg以上 | |
| 献血間隔 | 男女共2週間 | 男女共1週間 |
| 年間の献血回数 | 24回以内 | 12回以内 |

献血には二百七十人の方が受付を行い、そのうち採血された方が一九七人で、二百七十本換算で二百七十本になりました。町では今後とも町総ぐるみで献血を推進するため、町献血推進委員会を中心に愛の献血運動を進めてまいりますので、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願ひします。自分の望む献血方法を選べます。

献血には

三種類ある

献血には二百七十人献血、四百七十献血、さらに血液中の血漿や血小板といつた、成分だけを採取する成分献血の三種類があります。この中から、自分が一九七人で、二百七十本換算で二百七十本にもなりました。

採取した献血は、血液の全成分をもつ全血製剤、赤血球や血小板など成分ごとに分けられた血液成分製剤、血漿から特定のタンパク質を取り出した血漿分画製剤と大きく三つに分けられ、医療機関に供給されます。

あなたの大愛を行動に

全血製剤と血液成分製剤は、国内の血液で賄えるようになります。これが、血漿分画製剤は、約八割以上を輸入に頼っています。

ます。科学が進歩した今日で

も、血液は人工的につくることが出来ません。臓器の一部である血液を、商品のように購入する日本は、国際的にも厳しい批判を受ける立場にあります。

市町村は、町内事業所に勤務される他市町村の方(個人的に献血される方を含む)の献血

受付者数は小川六十六人がトップで、続いて釣師四十一人、岡三十人、菅谷三十人の順になっています。また、一世帯当たりの献血本数では、中島の一〇八本がトップで、続いて沢口〇・九四本、明地と新町が〇・九一本の順になっています。

また、近年の特徴としては町内の各事業所ぐるみのご協力があります。右の表の「他市町村」は、町内事業所に勤務される他市町村の方(個人的に献血される方を含む)の献血

平成四年度の献血事業は、三月九日の成分献血をもって終了しました。その結果は、県からの割当目標六百十六本に対し、千二百十二本、(達成率一九六・八%)の成果をあげることができました。これは原町保健所管内では一位、県内五位の成績です。皆さんのご協力に厚くお礼申し上げます。

町では献血を年九回、実施している。平成四年度の集落別献血実績は右の表のとおりです。これをみると、献血

ます。科学が進歩した今日で購入する日本は、国際的にも厳しい批判を受ける立場にあります。市町村は、町内事業所に勤務される他市町村の方(個人的に献血される方を含む)の献血

受付者数は小川六十六人がトップで、続いて釣師四十一人、岡三十人、菅谷三十人の順になっています。また、一世帯当たりの献血本数では、中島の一〇八本がトップで、続いて沢口〇・九四本、明地と新町が〇・九一本の順になっています。

また、近年の特徴としては町内の各事業所ぐるみのご協力があります。右の表の「他市町村」は、町内事業所に勤務される他市町村の方(個人的に献血される方を含む)の献血

尚英中二年生 東大体験入学

最高学府の素顔に感動

尚英中三年生（一一二人）が四月十六日、京都への修学旅行の帰途、東京大学を訪れました。東大の構内を散策し、研究資料館や有名な安田講堂の見学など中学生として全国で初めての体験をしてきた、生徒三人に感想を伺いました。

温かい先生や学生に親近感
——まず、東大に入った感想を聞かせてください。

五味 中学生が東大に入るの

は全国で初めてと聞いてたので、思っていた以上に緊張し、責任を感じました。校舎、校庭など目にはいるものすべてのスケールの大きさに度肝を抜かれました。ジーパン姿も目につき、オートバイに乗つ

——東大ではどんな事を学びましたか。

五味 まず、二班に分かれて

安田講堂と図書館を見学しました。その後、新地町の新地貝塚や三貫地貝塚の出土品が収蔵されている総合研究資料

——赤沢先生の講義はどうでしたか。

人骨から

——赤沢先生の講義はどうでしたね。

人骨から

——赤沢威助教授に御礼を述べる生徒たち

て通学する学生を見て親近感

を覚えました。また、意外に

スポーツも盛んでした。

石田 東大のイメージは、少し堅苦しく近づきにくい印象

を持っていました。でも、赤

門をくぐってみると、緑がと

ても多く、先生方や学生も、

イメージが正反対でとても温

かみが感じられました。

荒 入って見ると、学部が多く

研究所が十二もあり、共同

寮施設が十四、病院が二つあ

りました。

五味 さすが東大だなあと思いま

した。一番驚いたのは、職員が約四千人もいることです。

——東大ではどんな事を学びま

したか。

五味 まず、二班に分かれて

安田講堂と図書館を見学しま

した。その後、新地町の新地貝塚や三貫地貝塚の出土品が

収蔵されている総合研究資料

——赤沢先生の講義はどうでしたね。

人骨から

——赤沢先生の講義はどうでしたか。

人骨から

——赤沢威助教授に御礼を述べる生徒たち

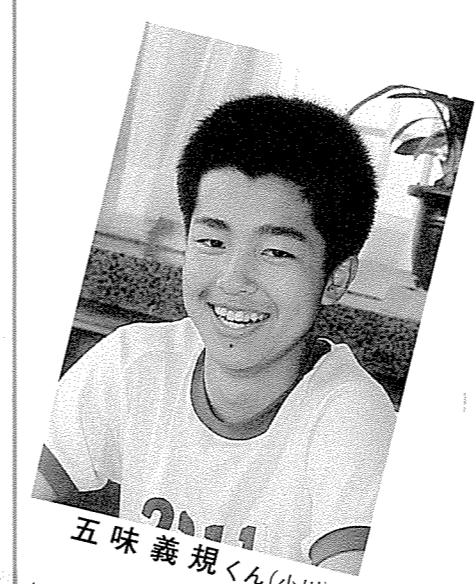
石田 とても興味深い講義でした。赤沢先生は、人間は主に七つの元素によってつくられています。今は四千年前の人骨から、当時の食生活が分かるそうです。

石田 私は安田講堂を見学したのですが、講堂の舞台の壁が二つにわかれしており、左側

に「入学」をイメージした絵があり、右側には「卒業」を

イメージした絵が飾られています。これが印象的でした。

荒 僕は図書館を見学したのですが、蔵書の数の多さに圧倒されました。東大生は見るからに知性があふれている感じで、また女子学生もいるのを見てすごいと思いました。



貴重な体験に感謝

れ態勢を整えてくれていまし
た。東大の構内にバスを乗り
入れたのも初めてだそうです。
赤沢威助教授をはじめ総合研
究資料館長、所員の方が、私
たちのために待機をしていた
だき、懇切丁寧に案内や講義
をしていただきました。

東大のスケールの大きさも
さることながら、自然そのま
まの大木や道、広々とした庭
園など実に静かで雰囲気があ
りました。また、安田講堂で



志賀尚英中学校長

今回の東大一日体験入学に
ついては、東大でもわざわざ
教授会を開き検討し、受け入

は、いわゆる講堂のもつ、香
り高い雰囲気や莊厳さに子供
たちは感動していたようです。
東大体験を通じ、学校は単
に家庭の延長ではなく、そこ
で真剣に学び、知恵を身につ
ける場所であることを、子供
たちなりに感じてくれたもの
だと思います。

今、地域に開かれた学校教
育が叫ばれていますが、格調
高く豊かな人間性を追求する
場としての学校の在り方を考

える必要があるよう感じて
まいりました。

赤沢威助教授は、東大に
伸びると思いますが、東大に
行つてその雰囲気を知ったこ
とは、子供たちにとって大き
な意義があつたと思います。

中学三年生全員を、町の人

づくり推進事業として、大変
貴重な体験をさせていただき
たことに感謝しながら、今後
ともこの事業を継続していき
だきたいと考えています。



農業改良と生活改善の実践者　こ委属大

實踐者に委嘱狀



▲ 農業情勢について研修会が開かれた

農業改良普及事業を効率的に推進し、農家生活の向上を図る、平成五年度農業改良推進員（二十二名）と生活改良推進員（十九名）が決まり、四月二十八日委嘱状が交付されました。

厳しい農業情勢とあって、交付式では「このような時こそ活発な活動が大切」と、出席者は決意を新たにしていました。

| | | |
|------------|------------|------------|
| ■農業改良推進員 | ○佐藤茂樹(大山田) | 猪狩千恵子(沢口) |
| | 佐藤四郎(明地) | 菊地正子(鉄炮町) |
| | 佐藤藤光昭(中里) | 横山照(中里) |
| | 岡崎隆夫(作田) | 荒綾子(作田) |
| | 黒木進(木崎) | 阿部孝子(上真弓) |
| | 荒秀次郎(堺浜) | 加藤幸子(下真弓) |
| | 小野市太郎(下真弓) | 宇佐美浅子(岡) |
| | 大堀弘明(岡) | 目黒征朋子(杉目) |
| | 加藤栄一(杉目) | 水戸戸圭子(新地町) |
| | 斎藤政好(新地町) | 小野圭子(小川) |
| | 小泉武志(中島) | 黒目チ子(釣師) |
| | 石田初男(小川) | 早坂なつ子(大戸浜) |
| | 森照男(釣師) | 阿部千恵子(今泉) |
| ◎竹沢正美(大戸浜) | 菅野美智子(菅谷) | |
| 菅野哲夫(今泉) | 石田キヌ子(高田) | |
| 菅野善仁(菅谷) | 阿部藤真智子(駒町) | |
| 佐藤晃(上町) | 後藤絹子(城内) | |
| 木村博二(駒町) | 鈴木絹子(藤崎) | |
| 木村雄三(波市民) | 佐藤絹子(富倉) | |
| 木村章(藤崎) | | |
| 木村司(今神) | | |
| 木村夫(富倉) | | |

新地小金一百万円寄贈

故松下マサヲさんの「遺志として

斎藤さんら三姉妹

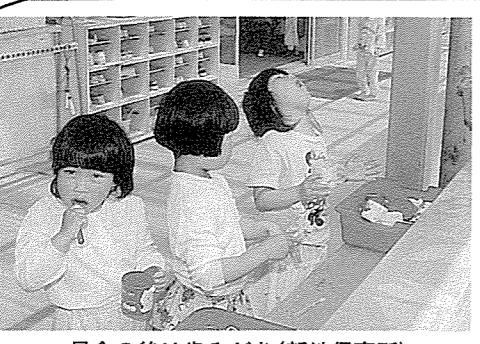
今年の二月に亡くなつた松下マサヲさん（91歳・中島の三姉妹、斎藤富美子さん（横浜）、岩野比佐子さん（札幌）、横山充恵さん（横浜）が五月八日、新地小学校を訪れ、故人の遺志に基づき、新地小学校の教育振興に役立てて、と後藤桂一校長に三百万円を贈りました。

児童手当の申請は 済みましたか



明童手当の支給期間

| | | |
|-----------|---------------------------|-----------------------|
| 第1子 | 平成3年1月2日以後に生まれた児童 | |
| 第2子 以降 | 平成元年1月1日～平成元年12月31日生まれの児童 | → 4歳の誕生日の属する月分まで支給 |
| | 平成2年1月1日～平成2年12月31日生まれの児童 | → 平成5年12月分まで支給 |
| | 平成3年1月1日以後に生まれた児童 | → 3歳の誕生日の属する月分まで支給 |



▲ 昼食の後は歯みがき(新地保育所)

心に目覚め、有意義な人生を送ることが出来たと話していました。松下さんの「次代の子供たちに役に立つよう学校に図書を」という遺志を受け、斎藤さんらがそれぞれ百万円、計三百万円の寄付を申し出たものです。

新地小学校では、ご好意に感謝しながら、「さっそく『松下マサヲ文庫』を創設し、子供達に読書の素晴らしさを教えたい」と話していました。

| 支給対象 | 第1子以降 |
|--|-------|
| 支給期間 | 3歳未満 |
| 支給金額 | (月額) |
| ▽第1・2子 | 各5千円 |
| ▽第3子以降 | 1万円 |
| なお、支給期間に関しては、 下の表のとおり経過措置があ りますので、ご注意ください。 | |
| 詳しく述べは、役場町民課(☎ | |

一・六才児健診すでに一六%の方に虫歯があることから赤ちゃんが生まれてからでは虫歯予防が遅すぎるのではと思いまして、妊娠中のお母さんを対象に歯科医師による歯の健診と、虫歯予防教室を開催しています。

七～八ヶ月、一才児健診には歯科衛生士による歯みがき指導と、歯がよく磨がけているかを見ています。

病気には二番がないと聞きますが本当にどこが痛んでも大変です。特に歯の痛みは例えようがない痛みです。ほとんどの大人はこの事をよく知っています。そこで乳歯を虫歯から守つてあげるのが大人の役目です。

歯の生え方は個人差がありますがふつう、六、七ヶ月から生え始めて二才六ヶ月頃に生えそろいます。乳歯は食べものをかんだり、ことばの発育を正しくしたり、顔のかたちを整えたり、永久歯の正しい歯並びを促すなど大切な働きをします。

次に新地町の歯科健診の状況は一・六才児で一六%の方に虫歯があり近隣市町村に比べて最も高くなっています。

町では虫歯予防のため次のよ

みんなで守ろう

保健婦長 中塚文子

文
人
學
術

The Photo Scramble



緑を求めて人の波

種苗市が5月16日、農村環境改善センター前広場で行われ、緑と花を求める人で賑わいました。種苗市は、朝市出店者会が主催し、今年で第8回。会場には花木の苗やキユウリ、トマト、ナスなどの苗が所狭しと並べられ、訪れた人は5本、10本とまとめ買いをしていました。また、町の特産品である魚介類や福田老人会のほうきなども人気を集めていました。



12の舞を披露

福田諏訪神社

福田の諏訪神社の春祭りが五月三日、同神社と福田地区で行われ、三月に県重要无形文化財に指定を受けた「十二神楽」を奉納しました。

十二神楽は慶応年間に丸森町から伝えられたとされ、太鼓、笛、舞もすべて少年が演じるというのが特徴。福田地区的小学三年生から中学一年生ら十二人が、地区の方々見守る中、日ごろの練習の力を發揮し、見事な十二の舞を披露しました。



釣師浜漁港に活気

釣師浜漁港は現在の漁港北側に、新漁港を建設予定です。水揚げされる魚介類をセリにかける荷さばき所をはじめ、製氷施設、漁民センター、組合事務所など、約三億六千万円をかけて年度内完成を目指しています。

5月は4月20日に解禁されたメロウド漁の最盛期を迎え連日、大量水揚げが続き、浜は活気に満ちています。メロウドはコウナゴの親で、主に養殖ハマチのえさとしていわき市や宮城県の業者に引き取られます。メロウド漁は6月5日まで行われます。(写真左)

また、新地漁協(小野胞蔵組合長)の総会が、五月十六日、同漁協で開かれました。昨年度の水揚げ高は、約五億七千五百万円で、タコ・ハモ・コオナゴの不漁が響き、目標の九六%にとどまりました。席上、水揚げ高上位の浜野正己さん(大戸浜)、小野春雄(釣師)、東守さん(大戸浜)が町長表彰されました。

▲ 釣師浜漁港に水揚げされたメロウド



5月は各小学校の運動会。駒ヶ嶺、福田小学校は、5月23日の日曜日に行われました。前日までのぐずついた天気もカラリと晴れあがり、絶好の運動会日和。子どもたちや応援の父母たちの歓声が五月晴れの空に響いていました。

新地小学校は、一週間遅れの5月30日に行われ、子どもたちは元気いっぱいに競技を繰り広げていました。



▲ 地区対抗玉入れ (福田小)



元気いっぱい運動会

3小学校
に歓声

ザ・フォト・スクランブル

心をはずませて一輪車乗り
(駒ヶ嶺小)

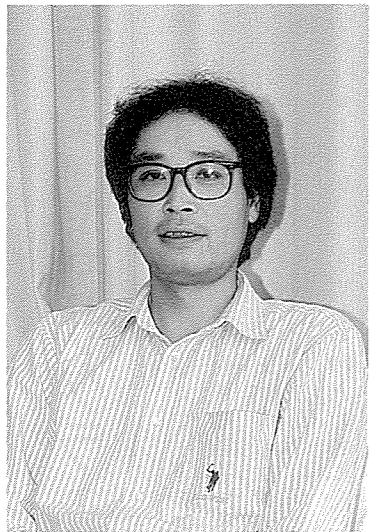
一人暮らし老人 ふれあいの集いに 給食サービス

町赤十字奉仕団

町社会福祉協議会主催による一人暮らし老人ふれあいのつどいが、5月18日に開かれ、お年寄り30人が、町のバスで町内を巡り、青葉・若葉がきれいに咲いた鹿狼山などを散策し、楽しい一時を過ごしました。

この日は、町赤十字奉仕団(小泉淑委員長)ら9人が、タケノコご飯、煮魚、ニンジンの白あえ、山椒味噌のトウフ田楽、カボチャのうま煮、ワカメ汁にフルーツゼリーとイチゴ付の心のこもった手料理を作り、お年寄りの労をねぎらいました。





自然に生きる 自然と生きる

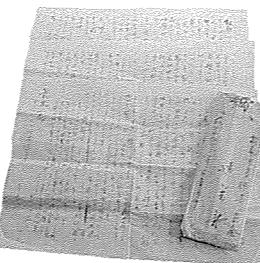
亡父の後を継いで、自宅で家庭電気製品の販売と修理業を営む橋本さん。地元に密着し、どんな小さいことでも、電話一本があればパッと行けりやサービスに努めています。橋本さんはアウトドア派。よく友達や一人で裏磐梯などでキャンプをしながら、ルアーフィッシングやカヌーを楽しんでいます。カヌーは五年のキャリア。「アウトドアの楽しみは、最初はカヌーから始

まつたのですが、それに付随して釣りやバードウォッチングなどいろいろな楽しみがついてくるんです。カヌーで人がいられないところに行けるのは、何とも言えず爽やかな気分になります」

橋本さんのまわりには、仕事は少々きつとも、それを帳消しするような、楽しいスポーツ（アウトドア）をもつ

我が家に一通の変色した古びた封書がある。二十数年前に古物を整理していく見つけたものであるが、差出人名は「相馬中学校寄宿舎内 遠藤新」とある。伯父に宛てたものであるが、浅学な者には毛筆で難解な草書体でしたためられた達筆な手紙を折にふれ手にするが、未だに判読でき

鈴木省三さん(上真弓)



きないでいる。消印は明治四十年五月二十二日とあるから、卒業を目前にした旧制中学時代のものであることは容易に推察できる。伯父とは小、中学生とも級友の間柄であったとの由、敗戦という時代のうねりが二人を分かつまで、交際は続いていたことを、人づては聞いていた。

遠藤 新からの 手 紙

投稿

我が家に一通の変色した古びた封書がある。二十数年前に古物を整理していく見つけたものであるが、差出人名は「相馬中学校寄宿舎内 遠藤新」とある。伯父に宛てたものであるが、浅学な者には毛筆で難解な草書体でしたためられた達筆な手紙を折にふれ手にするが、未だに判読でき

日本薬用植物友の会は、日

常に新聞や広報等で新氏

に関する記事を目にするが、

何故かそれに引きつけられて

しまっては、一通の手紙のせ

いなのだろうか。

新氏設計の住宅が、ゆかり

の地、福田地区に移築され

ている。近年、氏に関する記

事を目にする度に、その業績

や人となりを知る手がかりと

して興味深く読ませていただ

いており、併せて夢多き頃の、

新氏の書簡一通、写真一枚を

所持していることから、この

度敢てペンを執らせていただき

いた次第です。



○うまい（笑）。最近乐しかったことは。

☆2月に東北地区的プロ写真研究会のメンバーで、シンガポールに撮影旅行にいつきましたことです。皆さんから学ぶものが多く、実りのある研修でした。

○理想の男性のタイプは？

☆特にないです、やさしい人だつたらいいですね。

○町に何を望みますか。

☆若い人たちの出会いの場をつくつてほしいですね。

○最後にあなたの夢を聞かせてください。

（ありがとうございました）

○性格を教えてください。

☆サラッとカラッとパリッとして、せんべいみたいな性格です（笑）。

○その心は？

☆食べると歯ごたえがある。

○こんなには。ジーンズがよく似合いますね。

☆いつもこんな格好で仙台に通っているので、よく高校生に見られるんです。

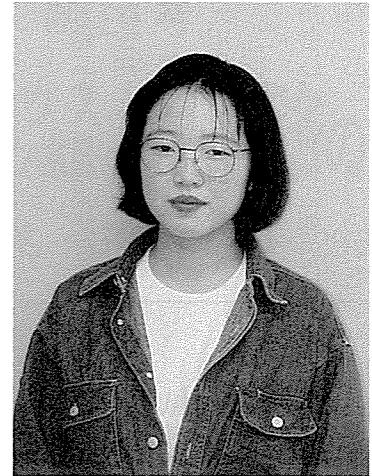
○性格は？

☆いつもこんな格好で仙台に通っているので、よく高校生に見られるんです。

○性格を教えてください。

☆サラッとカラッとパリッとして、せんべいみたいな性格です（笑）。

S 46.12.1 生 血液型B型・射手座
加藤さんは、仙台の写真店でカメラを勉強中。休日の水曜日、父親の経営するアサヒ写真店でインタビュー。「話は苦手なんだ…。何て答えばいいのかな」とつぶやきながら、明るく話してくれました。



加藤純子さん(下真弓)

今日は新地町と相馬市の薬草ファン「日本薬用植物友の会相馬支部」の活動をご紹介します。

グ ループ 登 場 ③

日本薬用植物友の会相馬支部

日本薬用植物友の会は、日常生活のまわりにある薬用植物を有効利用し、健康な生活に活用しよう、という趣旨で、昭和四十八年にスタート。宮城県内を中心に十三支部があり、薬用植物の見学会や交流会、機関紙の発行などの活動を行っています。

相馬支部が結成されたのは昨年五月で県内では初。支部長はマカダミアンナツ栽培の権威として知られる平間正治さん（73歳・城内）で会員は約八十人。これまで鹿狼山や山元町の深山などで自然観察会などを開催しました。

当団は同会の事務局（仙台市）の加藤春江さんが、健康と薬膳料理のかかわりについての講演会も行われました。

平間正治支部長は「高齢化社会を迎えて、『美しく老いる』ことを考える必要がある。

この会を通して、薬用植物の効用や自然のすばらしさを多くの人とわかつあいたい」と話していました。

この薬膳料理講習会の模様は福島県広報番組、「210万人のひろば」（FTV放送）で五月二十三日に紹介されました。

同会の問い合わせは、平間さん（☎ 024575）へ。



▶昨年10月の鹿狼山観察会



▶薬膳料理講習会

察会などを行い、薬草に対する理解を深めて来ました。

五月十六日には、農村環境改善センターで薬草を使った薬膳料理のユニーブ講習会を開き、主婦を中心には会員四十人が参加しました。薬草をどうやって食生活の中に生かしていくよいか、という観点から、クコ入りご飯、ヨモギとクリ、カキの若芽、カキドシオを使ったかき揚げ、レバーのショウガ煮と生ニラの削りぶしがなどを作り試食しました。

当日は同会の事務局（仙台市）の加藤春江さんが、健康と薬膳料理のかかわりについての講演会も行われました。

平間正治支部長は「高齢化社会を迎えて、『美しく老いる』ことを考える必要がある。この会を通して、薬用植物の効用や自然のすばらしさを多くの人とわかつあいたい」と話していました。

この薬膳料理講習会の模様は福島県広報番組、「210万人のひろば」（FTV放送）で五月二十三日に紹介されました。

同会の問い合わせは、平間さん（☎ 024575）へ。

東善寺下のヤマザクラ（山桜）

毎年桜の季節になると、六号国道を南下して、駒ヶ嶺小学校の前を過ぎてほどなく、右手前方の小高い杉森を割るように咲き出すヤマザクラがある。

赤い鳥居をくぐり、高さ十メートルもあるうか、玉石を組んだ石段を上り切った正面に愛宕神社がある。右手奥にも一回り小さい祠が立っており、若木神社と記されている。

この二つの祠を覆うように二本のヤマザクラが立っている。そのうちの一本がいかに

も大きな構えで、下枝の一本が近年の台風の被害でもあるのか、折れて幹に大きな傷跡を残しているものの、堂々としており神木の名に恥じないものである。隣接地にはその昔、東善寺という寺があったことと、現在は字名にその名が残り、シダレザクラの古木や戌申の役の戦死塚など

の碑が立っている。またヤマザクラの傍らに立て、立ち木の間のぞくと駒ヶ嶺城（臥牛城）も指呼の間にいる。そのうちの一本がいかに

舞い上がる一ひらもあり落花かな

渭城

舞い上がる一ひらもあり落花かな

渭城

咲き誇るヤマザクラを見

いと、駒ヶ嶺城の盛衰や戊

申の役の悲劇、第二次大戦の

困苦、そして、相馬地域開発

の進展と、永い歴史を経てき

ちときと安らぎを覚えるので

ある。

特老ホーム入所判定委員会

固定資産評価委員会

文教委員会

物価格補償協会理事会

11日

新地町船主会総会

相馬地方町村会、県青果

10日

4月

12日

13日

14日

15日

16日

17日

18日

19日

20日

21日

22日

23日

24日

25日

26日

27日

28日

29日

30日

4月

10日

11日

12日

13日

14日

15日

16日

17日

18日

19日

20日

21日

22日

23日

24日

25日

26日

27日

28日

29日

30日

4月

10日

11日

12日

13日

14日

15日

16日

17日

18日

19日

20日

21日

22日

23日

24日

25日

26日

27日

28日

29日

30日

4月

10日

11日

12日

13日

14日

15日

16日

17日

18日

19日

20日

21日

22日

23日

24日

25日

26日

27日

28日

5月

10日

11日

12日

13日

14日

15日

16日

17日

18日

19日

20日

21日

22日

23日

24日

25日

26日

27日

28日

29日

30日

4月

10日

11日

12日

13日

14日

15日

16日

17日

18日

19日

20日

21日

22日

23日

24日

25日

26日

27日

28日

29日

30日

4月

10日

11日

12日

13日

14日

15日

16日

17日

18日

19日

20日

21日

22日

23日

24日

25日

26日

27日

28日

29日

30日

4月

10日

11日

12日

13日

14日

15日

16日

17日

18日

19日

20日

21日

22日

23日

24日

25日

26日

27日

28日

29日

30日

4月

10日

11日

12日

13日

14日

15日

16日

17日

18日

19日

20日

21日

22日

23日

24日

5月

10日

11日

12日

13日

14日

15日

16日

17日

18日

19日

20日

21日

22日

23日

24日

25日

26日

27日

28日

29日

30日

4月

10日

11日

12日

13日

14日

15日

16日

17日

18日

19日

20日

21日

22日

23日

24日

25日

26日

27日

28日

29日

30日

4月

10日

11日

12日

13日

14日

15日

16日

17日

18日

19日

20日

21日

22日

23日

24日

25日

26日

27日

28日

29日